

今帰仁村の人口

昭和50年2月28日現在

男	5,454
女	5,580
計	10,959
世帯数	2,692

# 広報 なきじん



第 9 号  
編集発行 今帰仁村役場  
広報編集委員会  
TEL.098056-2101  
印刷 沖縄高速印刷  
TEL.(0988)32-5513

字別	例規	外定	150-900坪	901-1,500	1,501-2,000	2,101-3,000	3,001-4,500	4,501-6,000	6,001-7,500	7,501-9,000	9,001-15,000	15,001以上
今兼	0	0	80	34	6	8	5	2	1	2	1	
兼諸	4	4	11	7	6	8	5	3	2	1		
諸志	0	0	26	10	9	10	5	5	1	1		
志那	0	0	19	15	14	11	6	3	2	1		
那尾	0	0	11	17	12	8	11	5	2	1		
尾山	0	0	16	17	22	17	7	3	2			
山敷	1	1	25	19	11	12	7	5	2			
敷地名	1	1	11	9	9	8	8	5	2			
地名根	0	0	34	13	11	9	5	2	1			
根城	0	0	20	13	4	5	4	10	2			
城山川	3	3	16	17	5	8	11	12	4			
川底	0	0	39	38	25	28	33	7	2			
底客仁	2	2	28	20	9	18	7	5	1			
客仁天	0	0	7	6	3	7	13	11	2			
仁天大	2	2	7	13	11	9	16	7	2			
天大利	0	0	15	16	9	14	9	8	3			
大利古	0	0	5	3	14	39	23	9	1			

むらの統計

## 農業センサス済む 農家数は減少

私たちの村の農家を対象とした農家の国勢調査といわれ、農業センサス分昭和四十九年十月一日(他国県は五〇年二月一日)から実施され、去る一月下旬に集計整理も済み、その概要を皆さまに紙面上で紹介したいと思います。今回の農業センサスは省令の定めるところにより行う調査では総農家数一四四戸、調査で「町・市・町・村」の農業行政に必要な基礎資料を整備するための、きわめて重要な統計調査です。

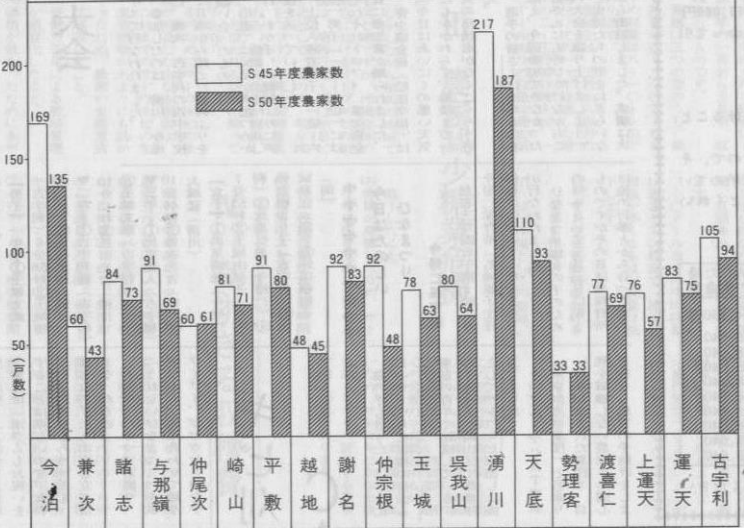
調査の結果、私たちの村において、農業の動きは時代と共に、徐々に変わっているのが見受けられます。たとえば、前調査(七一年度)で総農家数は一七二七戸でありましたが今回の調査では総農家数一四四戸、五年間で二八四戸も減少しました。

近年高度経済成長による、二次・三次産業への流出の農耕地の売買が考えられ、現在の耕作放棄地面積が九七五五〇坪にも達している状態です。

食糧危機の問題が叫ばれている折、いまだこれからの農業のあり方を再認識する必要があります。

農家は、経営耕地面積が一五〇坪以下、畑以外からの年間農業収入が七万円以内の家庭を農家として規定されています。

農家は、経営耕地面積が一五〇坪以下、畑以外からの年間農業収入が七万円以内の家庭を農家として規定されています。



## 海洋少年団結成



四方海に囲まれた私たちの子どもたちは海を親しませ、海を愛せ、たくましくを学び、海を多様な楽しみながら心身をきたえ、団体の活動を通じて心から科学的技能を習得させ、社会生活においても海のようには心をもった社会人となるように育てよう。

とる二月一日、海洋少年団の結成式が日本海洋少年団沖縄地区連盟会長(渡名守定)同常任理事(外間宏彰)父兄など来賓多数参加して行なわれました。

この少年団は、眼下では糸満、石川、八重山に次いで四番目に結成されたもので、団員数「九九名」は他に勝っています。

海洋少年団は、二歳から十八歳までの少年少女を正団員とし、本村では初めての結成となりました。

今年度は、今帰仁小中学生のみで結成の運びとなったものですが、今後は他の小学校からも募集し、現在所有しているカッター(二隻)ボート(二隻)そして、来年日本海洋少年団連盟より送られる予定のカッターなどの訓練にそなえるつもりです。

同少年団は村内の海洋訓練のみでなく、海洋博で各団の指導も努める予定です。村内では観音寺の清掃も計画されており、奉仕作業も訓練の一部とされています。

気をつけ、敬礼  
広い心を育てる

事務局長 玉城 真光  
指導者 上間 孝徳  
平安名 康  
大木 英恵子  
松本 京子  
松本 千賀子  
団長 事務局長 指導者など  
とは、直接団体の活動の指導にあたります。

団員委員会  
①松田 幸福(村長)  
②与那嶺新蔵(教育長)  
③山川 功(今漁協)  
④新垣 正春(同)  
⑤玉城 千賀(今自民)  
⑥比嘉 公英(商工会)  
⑦国吉 真栄(今建村)  
⑧島袋 善喜(漁川マリーナ)  
⑨社会教育団体又は有志指導者  
⑩父母の会代表(若手名) 団務と事業を審議、執行し、資金面の応援態勢を確保する。

父母の会  
後援会など、資金面の応援態勢を確保する。

なお第一回目の奉仕作業として、三月九日ワッパーの清掃が行なわれました。





# 農業団地状況発表

## 平敷サトウキビ生産組合

さる十月二十四日滋賀県大津市で開催された「昭和四十九年度農業団地優良事例発表研究会、西日本（ポック）」において、平敷サトウキビ生産組合、当山清組組合は優良事例として「平敷サトウキビ」を推薦された。

この推薦は、この組合の状況発表を主として、農林省主催によるこの検討は農業団地対策の第一として農業団地の優良事例を選び、その形成及び運営にあつての体験、成果等を発表、それについて当面の課題、将来の問題などを検討、学識経験者等による助言を受け、共知知識と技術の交流を図り、農業団地の発展に寄与するために企画されたものである。



↑平敷サトウキビ生産組合長 当山清

## I 地域の概況

私の村、今堀仁村は沖繩本島の北部にあり、那覇から九〇キロ、米開港場である国際海洋博覧会会場からは約十三キロの距離に位置している。当団地の所属する「平敷サトウキビ生産組合」は八ヶ岳で、その内七割は当たる八三戸が従事している純農村集落であります。

**A 立地条件**  
耕地面積五〇〇ヘクタールはほとんどが団地地、土質は珊瑚石灰質母岩上なる塩漬土からなり、透水性がよく、肥料の肥分が薄くなっています。

**B 農業生産の概要**  
台風、干ばつの被害が多いことから、地域の農業はこれを克服するために、団地地を配置し、サトウキビ作を中心として、肉用牛、豚、野菜、タバコ、肉用羊、養蚕業を別々も含めた複合経営が行なわれています。サトウキビは全耕地面積の六八％を占め、全農産物の七八％がサトウキビを栽培しており、この地域における農業の主体となっています。

## II サトウキビ作について

二ヶ年知のとおり、サトウキビは北海道におけるサトウキビと共に我が国における重要な甘味資源作物であり、鹿児島、南西諸島と沖繩県にだけ栽培されています。サトウキビについては、参考までに少々説明申上げます。

**A 沖繩におけるサトウキビ作の地位**  
沖繩におけるサトウキビの栽培は約三五〇年の古い歴史をもつとされており、今日でも沖繩における唯一の基幹作物として農業経済の中核をなしてまいりました。

去った戦争によって、一時全滅したけれども、戦後、サトウキビ栽培は復活し、昭和二十五年頃から再びサトウキビを中心とした農業経営の転換であると言われている状態に就いております。

## III 農家減少糖業危機

しかしながら私の地域でも同じ事ですが、沖繩全体の最近におけるサトウキビの生産は、昭和四十九年をピークとして、その後、年々減少を遂げ、沖繩の糖業危機であると言われている状態に就いております。

この減少の主たる原因は、(一)労働力不足による栽培管理が粗放化したこと、(二)労働力不足による栽培管理が粗放化したこと、(三)「アール」当り所要総時間が七、四時間で、そのうち収穫は、五、六時間程度であり、(四)肥料管理は、追肥、中肥、除草、土着、増土等のほか病虫防除等があります。

## IV 高すぎる収穫費

昭和四十七年産サトウキビ作は、一〇〇ヘクタールについて、沖繩総合事務局が生産費調査を行った結果、農林省が公表された夏植、春植、秋出しの三つの栽培型が粗大化したこと、(一)アール当り所要総時間が七、四時間で、そのうち収穫は、五、六時間程度であり、(二)労働力不足による栽培管理が粗放化したこと、(三)「アール」当り所要総時間が七、四時間で、そのうち収穫は、五、六時間程度であり、(四)肥料管理は、追肥、中肥、除草、土着、増土等のほか病虫防除等があります。

## V 機械を導入、共同作業

この様に、サトウキビ作にあっては労働費、特に収穫の問題で生産の減速をきたしている大きな原因になっていいます。

私共の地域でも勿論のこと、沖繩においては今のところ、サトウキビに代わらざるべき作物はなく、この基幹作物であるサトウキビの振興を図らなければならないとされています。

そのためには、栽培の省力化、特に収穫作業を何に省力化に基き、取手によって価格が決定され、収穫作業が果樹等に見受けられるような「農業従事者」という心配は全ありません。

昨年十一月、「平敷サトウキビ生産組合」を組織し、サトウキビ近代化農業推進事業を取り入れた「サトウキビ収穫機械導入」を図りました。

**A 組織の構成**  
この収穫作業は重労働が必要とすべく、製糖工場への搬入の関係もあり、短期間で多くの労働力が必要とするが、労働力不足、また賃金高いため、サトウキビ栽培面積を減らすこと、放棄する農家が増えることである。

(一)組合発足は、運営管理委員会によって協賛された協賛事業に結合して、実施された。

(二)組合発足初年度、即ち四八年年度は、サトウキビ収穫の共同作業を目的として、収穫班と病害防除班を組織し、共同防除班を編成している。

**B 収穫班と防除班**  
収穫班は、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、百。

第1表

取引量	従方	期集	力割	合
1,591ト	25,462時間	23,137時間	2,325時間	91%

第2表

面積	取面	機用面積	機用面積	利用率
1647	28	956	975	1.7%
				58.0
				59.2
				100

**C 収穫班の組織について**  
サトウキビ生産組合構成は、収穫班を三班に分けたのは、農機を三台に分けたのは、農機が三百あり、団地は幾少周辺に位置しているため、少人数でも移動時間の短縮を図るためと班員の構成を隣近所単位で編成した方が共同作業に好都合であるからです。

農家の原形輸入は組合で抽選方法により順番を定め、一回七十ト程度の収穫を行い、繰り出し機一台、脱穀機一台、搬出機一台、積込機一台、トラック一台から作業終了後、トラック一台で搬出機が搬出機、人力サトウキビが溝曲し、人力脱穀機が良いキビは機械を利用しない。

**D 収穫班の組織について**  
収穫班は各班交互に一台を使用する。

**E 収穫班の組織について**  
収穫班は各班交互に一台を使用する。

**F 防除班について**  
防除班については個人所有の防除機を借り受けて、共同作業に活用されています。

組合からの人員配置は、一、防除機を専任者を置いて、二、防除機を専任者を置いて、三、防除機を専任者を置いて、四、防除機を専任者を置いて、五、防除機を専任者を置いて、六、防除機を専任者を置いて、七、防除機を専任者を置いて、八、防除機を専任者を置いて、九、防除機を専任者を置いて、十、防除機を専任者を置いて、十一、防除機を専任者を置いて、十二、防除機を専任者を置いて、十三、防除機を専任者を置いて、十四、防除機を専任者を置いて、十五、防除機を専任者を置いて、十六、防除機を専任者を置いて、十七、防除機を専任者を置いて、十八、防除機を専任者を置いて、十九、防除機を専任者を置いて、二十、防除機を専任者を置いて、二十一、防除機を専任者を置いて、二十二、防除機を専任者を置いて、二十三、防除機を専任者を置いて、二十四、防除機を専任者を置いて、二十五、防除機を専任者を置いて、二十六、防除機を専任者を置いて、二十七、防除機を専任者を置いて、二十八、防除機を専任者を置いて、二十九、防除機を専任者を置いて、三十、防除機を専任者を置いて、三十一、防除機を専任者を置いて、三十二、防除機を専任者を置いて、三十三、防除機を専任者を置いて、三十四、防除機を専任者を置いて、三十五、防除機を専任者を置いて、三十六、防除機を専任者を置いて、三十七、防除機を専任者を置いて、三十八、防除機を専任者を置いて、三十九、防除機を専任者を置いて、四十、防除機を専任者を置いて、四十一、防除機を専任者を置いて、四十二、防除機を専任者を置いて、四十三、防除機を専任者を置いて、四十四、防除機を専任者を置いて、四十五、防除機を専任者を置いて、四十六、防除機を専任者を置いて、四十七、防除機を専任者を置いて、四十八、防除機を専任者を置いて、四十九、防除機を専任者を置いて、五十、防除機を専任者を置いて、五十一、防除機を専任者を置いて、五十二、防除機を専任者を置いて、五十三、防除機を専任者を置いて、五十四、防除機を専任者を置いて、五十五、防除機を専任者を置いて、五十六、防除機を専任者を置いて、五十七、防除機を専任者を置いて、五十八、防除機を専任者を置いて、五十九、防除機を専任者を置いて、六十、防除機を専任者を置いて、六十一、防除機を専任者を置いて、六十二、防除機を専任者を置いて、六十三、防除機を専任者を置いて、六十四、防除機を専任者を置いて、六十五、防除機を専任者を置いて、六十六、防除機を専任者を置いて、六十七、防除機を専任者を置いて、六十八、防除機を専任者を置いて、六十九、防除機を専任者を置いて、七十、防除機を専任者を置いて、七十一、防除機を専任者を置いて、七十二、防除機を専任者を置いて、七十三、防除機を専任者を置いて、七十四、防除機を専任者を置いて、七十五、防除機を専任者を置いて、七十六、防除機を専任者を置いて、七十七、防除機を専任者を置いて、七十八、防除機を専任者を置いて、七十九、防除機を専任者を置いて、八十、防除機を専任者を置いて、八十一、防除機を専任者を置いて、八十二、防除機を専任者を置いて、八十三、防除機を専任者を置いて、八十四、防除機を専任者を置いて、八十五、防除機を専任者を置いて、八十六、防除機を専任者を置いて、八十七、防除機を専任者を置いて、八十八、防除機を専任者を置いて、八十九、防除機を専任者を置いて、九十、防除機を専任者を置いて、九十一、防除機を専任者を置いて、九十二、防除機を専任者を置いて、九十三、防除機を専任者を置いて、九十四、防除機を専任者を置いて、九十五、防除機を専任者を置いて、九十六、防除機を専任者を置いて、九十七、防除機を専任者を置いて、九十八、防除機を専任者を置いて、九十九、防除機を専任者を置いて、百。

